

# 始めよう! インターネットフルーバンパイア校交流!

~インターネットで広がるアジアの友だち~



SOUTH EAST ASIA

ASIA



INTERNET FRIENDSHIP SCHOOLS

私たちの学校で東南アジアの子どもたちと顔が見える1対1の交流を行おう

学校と学校が  
1対1で

インターネットを  
通して

英語を使って

アジアの  
中学・高校生と  
(当面はタイ国)

交流を深める

どんなメリットがあるの?

1

学校で  
国際交流  
教育を  
進めます。

2

費用をかけずに  
顔の見える  
国際交流に  
参加できます。

3

コミュニケーション  
の能力が  
向上します。

4

東南アジア  
の“今”を  
知ることができます。

5

東南アジア  
との  
ネットワーク  
が築けます。



公益財団法人民際センター



助成:国際交流基金アジアセンター

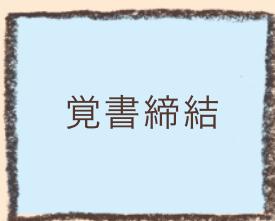
# HOW DO WE START? ~交流がはじまるまで~



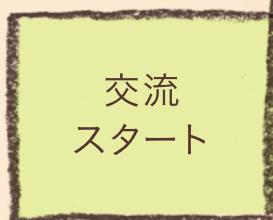
申込書、学校情報(School Information)を記載し、インターネット・フレンドシップ校交流事務局へメールで申し込みます。学校と学校の1対1交流ですが、生徒と担当の先生がいれば、交流単位は、クラス授業(通常or特別)、クラブ活動、同好会などのいずれでもかまいません。



民際センターのインターネット・フレンドシップ校交流事務局とタイの事務局(EDF)が、希望交流活動や学校規模等を考慮し、マッチングを行ないます。



交流校同士で、覚書を交わします。



担当の先生が自己紹介を兼ねた挨拶メールを送ります。



# HOW OTHER SCHOOLS ARE DOING? ~交流してみました~

インターネット・フレンドシップ校交流に取り組んだ学校の声を聞いてみました。

## ■ 横須賀市立横須賀総合高等学校ESS部 ■

### インターネット校交流をやってみました

始めるにあたって担当者がタイ現地校を訪問し、コンピュータ環境や学校の様子などを視察しました。校長先生との挨拶のほか、担当者と進め方について打ち合わせし、参加する生徒とも

交流を持ちました。その後、日本に戻ってから最初に先生同士でテスト交流を行ったのち、メールでの打ち合わせをしながら第1回目の交流(ビデオチャット)を行いました。タイ側の大暴雨によるインターネット環境の障害があり、日程変更もあったものの、積極的に交流の機会が持てました。

### 生徒の声

最初は英語による受け答えに自信がなく不安でしたが、部員のみんなと「わかりやすく、どのように日本のことや私たちのことを伝えるか」といったことを話し合いました。伝える方法は言葉だけではないことに気づき、絵や写真など見てわかるものも使いました。回数を増すごとに自分達の英語が通じていることを実感でき、英語を使った交流を楽しむことができるようになりました。この交流を通して、積極的な会話によってコミュニケーション力が向上し、タイの文化や生活について知ることもできました。今後も、たくさんの国の方達と交流したいと思っています。



### 先生の声

これまで机上の学習であった英語を、コミュニケーション手段として使う経験が、学校にいながら体験できることは、生徒にとって貴重な体験となっています。つたない英語をお互いに使って、他国の生徒と生の交流を持つこのプログラムは、英語学習に対するモチベーションの向上にたいへん効果的であり、他国の文化や生活の違いを体感することは国際理解へのきっかけづくりとしてとても有効だと考えます。



□お申し込み、お問い合わせはこちらまで。詳しい資料を送付いたします。



公益財団法人  
**民際センター**

インターネット・フレンドシップ校交流事務局 公益財団法人民際センター内  
□住所:〒162-0801 東京都新宿区山吹町337番地 江戸川橋東誠ビル5階  
□TEL:03-6457-5782 □FAX:03-6457-5783  
□Eメール:friendship@minsa.org □サイト:<http://www.minsai.org/>



民際センター

検索